

厚木基地をめぐる動きと市の主な取り組み

大和市民は長年にわたり、厚木基地の航空機の騒音被害に悩まされています。

昨年、厚木基地をめぐる動きは、空母艦載機移駐の延期の発表などさまざまな出来事がありました。今号では、厚木基地に関する最近の動向と市の要請活動や取り組みについて紹介します。



空母ジョージ・ワシントン
(米海軍ウェブサイトより)

厚木基地と空母艦載機

大和市民を悩ます航空機騒音の主な原因は、横須賀を事実上の母港とする米空母ジョージ・ワシントンの艦載機によるものです。

多くの場合、この空母が横須賀に入港する数日前に、艦載機が厚木基地



固定翼哨戒機P-1

市の主な取り組み

●厚木基地に関する要請活動

市では、県や基地周辺市などと連携しながら、厚木基地のさまざまな問題の解決のため、国や米側に対して要請活動などを実施しています。このほか、市民のほか、市民議会、行政の代表者で構成される大和市



外務省で要請活動を実施する大和市基地対策協議会委員ら(写真左)

■昨年以降の主な要請活動

とき	内容	要請者
昨年1月24日	空母艦載機の移駐に係る申し入れ	大和市長
2月5日	空母艦載機の移駐について	厚木基地騒音対策協議会
5月24日	空母艦載機の着陸訓練について	大和市長
6月20日	海上自衛隊固定翼哨戒機P-1の不具合について	大和市長
7月1日	空母艦載機による深夜の飛行等について	大和市長
8月13日	基地問題に関する要望	県基地関係市連絡協議会
8月26日	厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望	大和市基地対策協議会
11月7日	米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等について	厚木基地騒音対策協議会
12月16日	米海軍厚木基地所属のヘリコプターの着陸失敗について	大和市長
1月9日	米海軍空母艦載機の部品落下について	大和市長

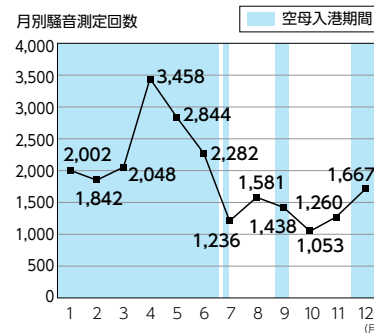
に飛来します。空母が入港している間は、艦載機は厚木基地を拠点に飛行活動を繰り返すため、市民に甚大な騒音被害をもたらします。

また、空母の出港前にはNLP(夜間連続離着陸訓練を含む離着陸訓練)が実施されます。この離着陸訓練は、1993(平成5)年以降のほとんどが硫黄島で実施され、昨年もすべて硫黄島で実施されました。しかし、天候によっては厚木基地で実施される可能性もあることから、市では今後も、同訓練について決して厚木基地で実施することのないよう国や米軍に対し求めていきます。



空母艦載機F/A18スーパーホーネット

昨年1年間の騒音測定回数と空母入港状況

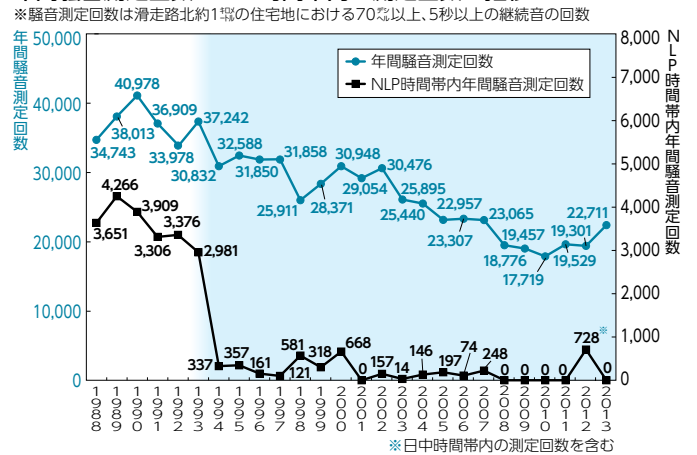


最近の動向

●空母艦載機の移駐に向けた動き

2006(平成18)年に日米両政府が合意した「再編実施のための日米のロードマップ」において、厚木基地の空母艦載機については今年までに岩国基地に移駐するとされています。しかし昨年1月、国から市に対し、厚木基地の空母艦載機の移駐時期が2017(同29)年頃になる見込みであることが説明されました。

年間騒音測定回数とNLP時間帯内の測定回数の推移



●市基地対策協議会で日米ガイドライン実動訓練を視察

昨年11月5日、神奈川県警察や在日米軍、消防などによる「日米ガイドライン実動訓練」が厚木基地で実施され、大和市基地対策協議会は、このようすを視察しました。この訓練では、米軍航空機が墜落したことを想定し、関係機関が連携して航空機の消火、救出救助、立入規制などが実施されました。



訓練を視察する大和市基地対策協議会委員ら

●相次ぐ航空機事故に対する要請

昨年12月16日に三浦市で米海軍厚木基地所属ヘリコプターMH-60Sが不時着する事故が発生しました。また、1月9日には、綾瀬市において米海軍厚木基地所属の空母艦載機F/A-18Eスーパーホーネットが部品を落下させる事故が発生しました。これらの事故発生に際し大和市長は、それぞれの事故発生当日に、厚木航空施設司令官などに対し、早期の原因究明や安全確保の徹底などに努めるよう強く要請しました。

両事故で人的被害は発生しなかったものの、航空機事故は市民に不安を与え、航空機騒音は市民に結びつくおそれもあることから、今後十分な説明を求めていくとともに、厚木基地の航空機の安全確保に最大限努めるよう、国や米側に働きかけていきます。

市では今後も、厚木基地に起因する市民の負担が軽減されるよう、県や基地周辺市と連携しながらさらなる取り組みを進めていきます。

●厚木基地対策協議会
〒260-0531 大和市役所 260-0531 大和市役所 260-0531 大和市役所